

指定校番号	29037	学級活動		生徒会活動		学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	--	-------	--	------	---	------

## 平成29年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立野坂中学校	校長	植松寛雄	生徒指導主事	川本 宏
-----	------------	----	------	--------	------

<b>取組事例名</b>	『文化祭における合唱の取組』
<b>取組のねらい『キーワード つながり』</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱活動を通じて仲間と心を通い合わせ、合唱を創りあげることの達成感、やり遂げた充実感や感動を味わう。</li> <li>自主的に練習を組み立て、一人ひとりが協力して合唱に取り組み、相手の心や立場を考えながら思いやりや支え合う気持ちをはぐくむ。</li> <li>文化祭後の行事の合唱につなげる。</li> </ul>
<b>身に付させたい資質・能力</b>	<p>異学年交流を通して生徒の自治活動を高め、お互いを認め合い、高め合うことで自己有用感を育てる。</p> <p>【合唱コンクールでつけられると期待できる力】</p> <p>コミュニケーション力 思いやり 自主性 協力性 表現力 創造性 男女の理解</p>
<b>取組の具体的内容『キーワード 他の行事とリンク』</b>	<p>① スローガン作り（全員が意識して、高まっていこうとするシンボル）</p> <p>② 練習計画（自分たちで作るハーモニー）</p> <p>③ 専門家の指導（より高い技術を習得）</p> <p>④ 道徳での授業とリンク</p> <p>○ 事前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団生活の向上4-(1) 「私の存在」（道しるべ 正進社） 合唱コンクールに向け、学校やクラスでよりよい人間関係を築こうとする意欲をもつ。</li> <li>・ 愛校心、校風の樹立4-(7) 「合唱コンクール」（明日をひらく1 東京書籍） 学級や学校を愛しそこでの生活の中で自分の役割を果たし、よりよい学校生活の実現に努めようとする意欲を高める。</li> </ul> <p>○ 事後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女の協力2-(4) 「班でのできごと」（明日をひらく1 東京書籍） 男女はそれぞれの立場や考えを理解し、協力し互いに尊重しようとする態度を育てる。</li> <li>・ 友情2-(3) 「勝利への坂道」（明日をひらく2 東京書籍） 相手の立場を思いやり、真の友情とは何かということを深く考え、よりよい行動をする態度を育てる。 「班でのできごと」（明日をひらく1 東京書籍） 男女はそれぞれの立場や考えを理解し、協力し互いに尊重しようとする態度を育てる。</li> </ul> <p>⑤ 学年合唱（3年生を送る会、卒業式につなげる。）</p> <p>⑥ 夢つながり合唱祭（廿日市市主催）へつなげる。</p> <p>⑦ メッセージカードの作成（自己有用感の育成）</p>

### 取組の課題・創意工夫『キーワード 時間確保 』

- 発表の順番の工夫（1、2年の発表を先に行ったり、学年合唱を一番最後にプログラムするなどすれば、もっとより多くの保護者の方に見てもらえるのではないかと思う。）
- 練習時間の確保，時間の厳守
- 盛り上がってくるはよいが、廊下を歌いながら（異常な歌い方）移動をしたりするなどは課題である。
- 合唱曲の選定の問題（文化祭実行委員→全教職員という流れを確実に）

### 取組の成果（効果）『キーワード 効果的な取組 』

- 年々，生徒の取組も普段の様子を見ていると，盛り上がってきている。
- 他学年と練習をする機会がそれぞれのレベルが確認でき，非常に有効である。
- 専門家の先生に指導していただく機会は，生徒のやる気を掻き立てるのに大変有効である。
- 学年合唱が学年集団という意識も高めることができる機会となっている。
- 他の行事とリンクさせた取組なので，継続的に意識を高めていくことができる。
- メッセージカード等で自己有用感を高める取組になっている。

### 今後の展開『キーワード 縦のつながり 』

- クラスのつながり，学年の横のつながりは高まってきたので，学年でクラス数が違っていても，縦のつながりをさらに高めていけるような取組みを展開させていきたい。
- 合唱だけでなく，他の行事や日常生活の中で，縦のつながりを高めていけるような取組を展開させていきたい。

### 他校へのアドバイス『キーワード 各取組みをリンクさせる 』

各行事・各取組みが途切れ途切れにならないよう，それぞれをリンクさせて，系統立てて，計画的に，しかも生徒が主体的に取組めるようにしていけたらと思います。